

林地帯においては、森林の景観や河川の溪谷美など自然のままの環境を生かして、自然探勝歩道や国民宿舎、キャンプ村、民宿などの整備をはかり、地方色豊かな森林観光地帯として開発する。なお人吉地方は本県と南九州の観光地帯を結ぶ拠点として整備する。

(1) 交通基盤の整備
国道二一九号その他の国道の整備をすすめることとするが、特に加久藤トンネルの整備を急ぎ、県南における人吉市の交通的地位を高めるとともに、鹿児島、宮崎などの観光地との緊密化をはかる。

域内道路については、人吉、宮崎、



第7章

宮原線の整備をはじめ、人吉と砥用を結ぶ城南山岳縦断道路の整備をすすめるほか、佐敷大野線の整備、ダム関連道路など、主要な道路の整備をすすめる。城内はもちろんで、県内各観光地と結んで、観光ルートの形成をはかる。

(2) 施設の整備
これら道路の整備とあわせて、沿道美化をはかるほか、特に自動車による観光や青少年の野外活動に資するため、民間の参加を求めて、ユースホステル、野営施設、野外活動施設などの設置を促し、また、自然探勝や登山などの人びとのために、民宿をすすめる。これらの人びとの利用に供するよう促す。

(3) 自然探勝ルートの形成
自然探勝を遊歩しながら観賞できるよう、県内を縦断する自然探勝歩道の一環として、阿蘇南郷谷から内大臣森林地帯、矢部周辺、緑川ダム地帯、五木五家荘、市房山周辺、さらに矢岳高原を経て人吉地区に至る自然探勝コースの設定をはかるほか、釈迦院登山、せんだん郷などを探訪する自然、歴史探勝コースの設定を計画する。

(4) 産業開発との調整
この地域は、全国屈指の林業地帯として大規模森林開発が推進されるなど、産業開発の面でも、新たに展開が

はかられようとしているが、観光的に価値ある天然林は、地域を指定してこれを残すなど、産業の開発と調整をはかるとともに、これらの産業もまた観光にも活用できるよう配慮して、産業と観光の一体的な発展を促す。

また、各地のダムの景観とこれによって生じた人工湖を観光に活用することができるとする必要施策を促し、地元住民の所得増大に資する。

(5) 文化遺産の活用
(6) 国立公園の指定促進
(7) 宣伝紹介

水資源の開発と国土保全

第1節

水資源の開発

◇現況と問題点
人口の都市集中、生活様式の多様化に

ともなう水道用水や、産業構造の高度化、工業化の進展による工業用水、さらに農業の生産性を高めるための農業用水など水資源の新規需要は、近年ますます増加する傾向にある。このため、球磨川、緑川、菊池川など河川の総合開発を推進し、増大する水需要に対応して、水資源の確保につとめているが、過去十年間の平均によれば年間総流出量約百十億立方メートルに対して利用されている水量は、実質約二十億立方メートル程度

で、なお開発の余地を残している。

ところで本県の水利利用の用途別現況についてみると、年間使用量約三十三億立方メートルのうち、農業用水が約二十九億七千万立方メートルで九〇%を占め、工業用水が二億四千万立方メートルで七%、水道用水が八千万立方メートルで約三%となっている。

(1) 水道用水
県内の水道普及状況は昭和四十二年度末五三%で全国平均七五%に比べかなり低い。また水道施設は五百二十六箇所、給水人口は九十二万六千人である。

(2) 工業用水
昭和四十二年度における工業用水の一日当たり平均使用量は約六十七万立方メートル、水源別には河川水二十二万二千立方メートル、地下水二十三万五千立方メートル、上水道九千立方メートル回収水その他二十万四千立方メートルとなっている。河川水と地下水が大部分を占め、おおむね同程度の量を取水している。

(3) 農業用水
県内における耕地面積は十五万九千ヘクタール、うち水田八万五千ヘクタール、畑、その他七万四千ヘクタールとなっているが一日当たり使用量は約三千二百九十七万立方メートルとなっており県内における水利利用の九〇%を

占めている。水源別には河川水二千五百四十五万立方メートル(七七%)、地下水百七十七万立方メートル(五%)、ため池その他五百八十二万立方メートル(一八%)となっている。

◇将来の展望

(1) 水道用水の需要見直し
水道の普及率は昭和四十二年の五三%から昭和五十年に七〇%、昭和六十年に九二%に伸びるものと思われる。また、生活水準の向上と

表1 将来の増加水需用に対する供給対策の基本方向 (目標年次: 昭60)

水系	用途別	増加使用量(千m ³)	計(千m ³)	供給対策の基本方向
総数	水道用水	587	10,644	
	工業用水	1,644		
	農業用水	8,431		
菊池川水系	水道用水	91	3,157	1 菊池川水系に竜門ダムをはじめとする多目的ダムを建設する。 2 菊池川河口に河口湖などを建設する。 3 地下水利用をはかる。
	工業用水	452		
	農業用水	2,614		
白緑川水系	水道用水	330	4,727	1 現在建設中の緑川ダムをはじめさらに緑川および支川に多目的ダムを建設する。 2 白川上流に白川ダム(多目的)を建設する。 3 現況水利施設の統廃合を行ない水利利用の合理化をはかる。 4 地下水の利用をはかる。
	工業用水	400		
	農業用水	3,997		
球磨川水系	水道用水	102	1,967	1 川辺川ダム建設のほか球磨川水系上流に多目的ダムを建設する。 2 地下水利用をはかる 3 不知火海淡水化を促進する。
	工業用水	667		
	農業用水	1,198		
天草水系	水道用水	41	529	1 天草における2級河川に多目的ダムを建設する。 2 羊角湾淡水湖開発をはじめとする淡水湖開発(不知火海淡水化を含む)をはかる。 3 海底送水を促進する。
	工業用水	14		
	農業用水	474		
その他	水道用水	23	264	1 地下水開発をはかる。 2 ダムの建設を促進する。
	工業用水	111		
	農業用水	130		

注) 水系の対象地域は次のとおり

菊池川水系……玉名市、荒尾市、山鹿市、菊池市、玉名郡、鹿本郡、菊池郡
白川水系……熊本市、宇土市、飽託郡、宇土郡、上・下益城郡、阿蘇郡(その他に含まれる地域を除く。)
緑川水系……八代市、人吉市、八代郡、球磨郡
球磨川水系……八代市、人吉市、八代郡、球磨郡
天草水系……本渡市、牛深市、天草郡
その他……水俣市、芦北郡、阿蘇郡(小国町、南小国町、波野村、産山村、蘇陽町)